

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-510966(P2005-510966A)

【公表日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-548499(P2003-548499)

【国際特許分類】

H 04 Q 7/38 (2006.01)

H 04 L 12/46 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 109 K

H 04 L 12/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動局が休眠モードに入った後で、ポイントツウポイントプロトコル(Point-to-Point Protocol, PPP)セッションを再ネゴシエートするかどうかを判断する方法であって、パケットデータサービスノード(packet data service node, PDSN)に接続された第1のパケット制御(packet control, PCF)から、PDSNに接続された第2のPCFへの変更を検出することと、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されているかどうか、および第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと同じであるかどうかを判断することと、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと同じであるときは、移動局が、第2のPCFに接続されたPDSNへの接続を要求し、PPPセッションを再ネゴシエートすることを要求しないことを、無線アクセスネットワーク(radio access network, RAN)に示すことと、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと異なるときは、PPPセッションを再ネゴシエートすることと、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていないときは、PPPセッションを再ネゴシエートすることとを含む方法。

【請求項2】

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと異なるときは、PPPセッションのための再ネゴシエーションが、移動局から発信される請求項1記載の方法。

【請求項3】

移動局が、高度発信メッセージを、1のデータ送信準備完了(Data-Ready-Send, DRS)比特と共に送るステップをさらに含む請求項2記載の方法。

【請求項4】

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されていないときは、PPPセッションのための再ネゴシエーションが、第2のP C Fに接続されたP D S Nによって開始される請求項1記載の方法。

【請求項5】

第2のP C Fに接続されたP D S Nが、PPPセッションのための再ネゴシエーションを開始する前に、移動局が、PPPを再ネゴシエートすることなく、エージェント請求を送り、第2のP C Fに接続されたP D S Nのインターネットプロトコル(internet protocol, IP)アドレスを確認することを試みる請求項4記載の方法。

【請求項6】

移動局が、高度発信メッセージを、1のデータ送信準備完了(D R S)ビットと共に送るステップをさらに含む請求項4記載の方法。

【請求項7】

移動局が、第2のP C Fに接続されたP D S Nへの接続を要求する指示が、高度発信メッセージを、0のデータ送信準備完了(D R S)ビットと共に送ることによって達成される請求項1記載の方法。

【請求項8】

複数のプロセッサ実行可能命令を使用して符号化されるコンピュータ読み出し可能媒体であって、プロセッサ実行可能命令が、

第1のパケットデータサービスノード(P D S N)に接続された第1のパケット制御機能(P C F)から、P D S Nに接続された第2のP C Fへの変更を検出するための命令と、

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されているかどうか、および第2のP C Fに接続されたP D S Nが、第1のP C Fに接続されたP D S Nと同じであるかどうかを判断するための命令と、

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のP C Fに接続されたP D S Nが、第1のP C Fに接続されたP D S Nと同じであるときは、移動局が、第2のP C Fに接続されたP D S Nへの接続を要求し、PPPセッションを再ネゴシエートすることを要求しないことを、無線アクセスマッシュ(R A N)に示すための命令と、

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のP C Fに接続されたP D S Nが、第1のP C Fに接続されたP D S Nと異なるときは、PPPセッションを再ネゴシエートするための命令と、

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されていないときは、PPPセッションを再ネゴシエートするための命令とであるコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項9】

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のP C Fに接続されたP D S Nが、第1のP C Fに接続されたP D S Nと異なるときは、PPPセッションのための再ネゴシエーションが、移動局から発信される請求項8記載のコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項10】

移動局が、高度発信メッセージを、1のデータ送信準備完了(D R S)ビットと共に送るステップをさらに含む請求項9記載のコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項11】

第2のP C Fが、移動局によって以前に訪問されていないときは、PPPセッションのための再ネゴシエーションが、第2のP C Fに接続されたP D S Nによって開始される請求項8記載のコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項12】

第2のP C Fに接続されたP D S Nが、PPPセッションのための再ネゴシエーションを開始する前に、移動局が、PPPを再ネゴシエートすることなく、エージェント請求を送り、第2のP C Fに接続されたP D S Nのインターネットプロトコル(IP)アドレス

を確認することを試みる請求項 1 1 記載のコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項 1 3】

移動局が、高度発信メッセージを、1のデータ送信準備完了(DRS)ビットと共に送るステップをさらに含む請求項 1 1 記載のコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項 1 4】

移動局が、第2のPCFに接続されたPDSNへの接続を要求する指示が、高度発信メッセージを、0のデータ送信準備完了(DRS)ビットと共に送ることによって達成される請求項 8 記載のコンピュータ読み出し可能媒体。

【請求項 1 5】

移動局が休眠モードに入った後で、ポイントツウポイントプロトコル(PPP)セッションを再ネゴシエートするときを判断する装置をもつ移動局であって、装置が、

パケットデータサービスノード(PDSN)に接続された第1のパケット制御機能(packet control function, PCF)から、PDSNに接続された第2のPCFへの変更を検出する手段と、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されているかどうか、および第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと同じであるかどうかを判断する手段と、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと同じであるときは、移動局が、第2のPCFに接続されたPDSNへの接続を要求し、PPPセッションを再ネゴシエートすることを要求しないことを、無線アクセスネットワーク(RAN)に示す手段と、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと異なるときは、PPPセッションを再ネゴシエートする手段と、

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていないときは、PPPセッションを再ネゴシエートする手段とを含む移動局。

【請求項 1 6】

第2のPCFが、移動局によって以前に訪問されていて、かつ第2のPCFに接続されたPDSNが、第1のPCFに接続されたPDSNと異なるときは、PPPセッションを再ネゴシエートする手段が、PPPセッションの再ネゴシエーションを発信する手段を含む請求項 1 5 記載の移動局。

【請求項 1 7】

高度発信メッセージを、1または0のデータ送信準備完了(DRS)ビットと共に送る手段をさらに含む請求項 1 5 記載の移動局。